

広報  
あかいけ

61年

2月

No.277

発行所 赤池町役場 編集 総務課 文書広報係 ☎(代表) 28-2004  
 印刷所 赤池印刷 毎月 1回発行



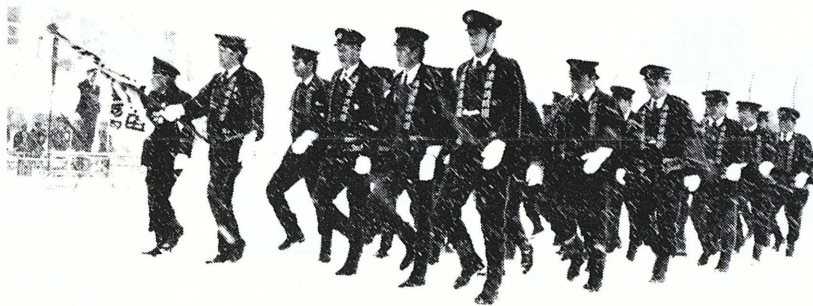
(とじて保存してください)

下田川4ヵ町連合消防出初め式

(1月5日 赤池中学校運動場で)

【2面に関連】

# 火消し男の神髄は、内に流れる郷土愛



▼風雪の中で堂々と分列行進する赤池町消防団のみなさん▲

一月五日、積雪と吹雪の中で恒例の下田川カ町連合消防出初め式が、赤池中学校運動場で行われました。

下田川カ町は火災や災害が発生したとき、要請があれば互いに応援に駆けつける協定を結んでおり、連合出初め式は終戦直後から続いています。

今年も四年に一度、地元赤池町で行われましたが、前後からの寒波で運動場には五センチの積雪。それでも四カ町から総勢四百十六人の消防団員(うち赤池町消防団は百十人)と二十台の消防車が参加。吹雪の中でもきびきびとした態度で、その雄姿を披らうしました。

式では、消防長である池永町長の訓辞や服装、機械器具点検、分列行進などが行われ、最後に人命救助の二人や永年勤続、優良団員などの表彰が行われました。



▼代表して表彰を受ける第三分団分団長 奥永昭政さん▲

○秋元米造○中村雅敏(以上二十年の永年勤続) 〔福岡県消防協会長表彰〕○木村計○奥永優二○島修二○太田建一○丸山孝義(以上優良団員) ○浦田拓義○大森正信 ○有吉憲一○鶴森哲男○谷頭浩二 ○谷正興○八隅清蔵○秋元米造○中村雅敏○山尾繁樹○生野梢○小松学(以上永年勤続) ○浦田豊春 ○浦田未春(兄弟団員) ○平川正貞(消防事務) 〔福岡県消防協会田川郡支部表彰〕 ○太田旭○中村博樹(町長表彰) ○奥永昭政○和田豊○国広隆一○佐藤鷹雄○柴田晋一○相原時雄○平川正貞

## 行財政の効率化をめざして 町行政改革大綱の策定作業進む

町では現在、「赤池町行政改革大綱」策定に伴う答申づくりが進められています。

これは「全国の地方公共団体をとりまく社会経済情勢、財政情勢などは依然として厳しい状況にあり、多様化する行政需要に対応しつつ、地域社会の活性化および住民福祉の増進を進めるためには、引き続き行政改革を強力に推進することが強く求められている」とした、昭和五十九年十二月の閣議決定を受けて、自治省が全国の地方公共団体に地方行政大綱の策定を求めているもので、赤池町でも昨年の六月定例町議会で、「赤池町行政改革推進委員会設置条例」が可決され、議会や労働団体など町内の各種団体から選ばれた十四人の委員さんにより答申づくりが進められています。

国が示した要綱では、①事務事業の見直し②組織、機構の簡素合理化③給与の適正化④定員管理の適正化⑤民間委託、OA化等事務改革の推進⑥会館等公

共施設の設置および管理運営の合理化⑦その他の七項目の案が示されています。しかし、赤池町では国が示したとおりの大綱ではなく赤池町独自の特色ある行政大綱づくりを進めています。現在までに六回の推進委員会が開かれ、町の財政状況や機構など現行の町行政の分析、職員定数や他市町村の事務事業の民間委託状況の調査などが行われています。今後は、こうした現状分析を踏まえ課題、問題点を審議して、三月末までには赤池町独自の望ましい町行政のあり方を盛り込んだ答申が出される予定です。なお、田川郡内ではすでに香春町、川崎町で最終答申が出され、金田町は中間答申となっています。

○推進委員会委員のみなさん

○立花杉夫(会長) ○秦住雄(会長職務代理) ○浦田勇 ○山下次男 ○平元光年 ○小松篤生 ○青木等 ○中原和義 ○亀井澄子 ○猪口公子 ○田中久夫 ○左重喜 ○亀谷松次 ○久原弘(以上14人敬称略)

## 『若い頭脳とエネルギーで まちの活性化を』 117人が大人の仲間入り



▶決意を書いた紙をつけ、風せんを一齐に飛ばす新成人のみなさん▲

恒例の松の内成人式が一月三日同和対策中央研修所で開かれました。

今年の新成人は男子六十四人、女子五十三人の百十七人で、うち男子四十人、女子三十三人の計七十三人が出席。

式では池田教育長が「実社会では少しでも相手に自分を知ってもらうことが重要。そのためには、あいさつを励行し、名刺のいらない人生を送ってほしい。」と、ま

た、池永町長は「みなさんの若い頭脳とエネルギーが難問をかかえる筑豊にとどまり、赤池町の、筑豊のために活躍してほしい。そして社会に奉仕できる人になってほしい。」と新成人を激励しました。

中学時代の恩師を代表して福田昌先生(金田町)は「この機会に人生の設計を立て、失敗を恐れずチャレンジしてほしい。」と祝辞を述べました。これに答え新成人を代表して猿

畑の矢津田恵輔さんが「社会が期待する社会人として、地域の発展に貢献します。」と宣誓しました。その後、純真女子短大助教授の川原黎治氏の講演「若者へ贈る言葉」を聴き、振りそで姿、スーツ姿で記念撮影。各人が新成人としての決意を書いた紙をつけた風船を一齐に冬空高く飛ばしました。茶話会では、全員が顔なじみとあって話も弾み、はたちの同窓会で社会人としての門出を祝いました。

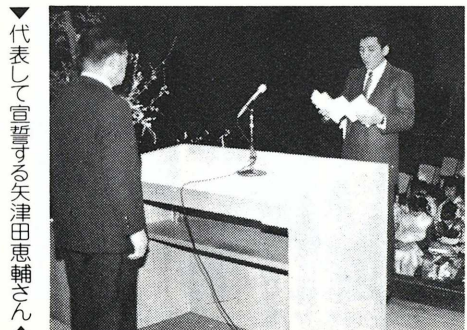
## 毎日ありがとう 30年間 街角に立つ岩城辰美さん



▼毎朝、派出所前で子どもたちに声をかける岩城辰美さん▲

赤池中町の岩城辰美さん(71)は、昭和三十年からお年寄りや子どもたちを交通事故から守るため毎日、町内の交差点に立っています。

岩城さんは、明治鉱業に勤務中の昭和十九年、高熱をおして出勤。鉱内で貧血を起こし事故で右腕を切断。九死に一生を得ました。前途を悲観して途方に暮れているとき、鹿児島県と同じような障害者が社会のために活躍している新聞記事を読んで「何か生きがいを持ち積極的に生きよう。」と決意。「自分が障害者なので、自分のような障害者をつくらぬように。」



▼代表して宣誓する矢津田恵輔さん▲

と交通安全に立ち始めました。昭和三十年、高尾口交差点を皮切りに赤池駅踏切り、居原商店前三叉路、赤池橋、そして現在の上野橋派出所前と、三十年間、日曜日以外毎日、正月も盆も立ち続けています。

赤池駅の引き込み線踏切りでは貨物列車にひかれそうになったお年寄りを一髪救助したことも数度。表彰状、感謝状は数えきれないほどあります。

また、岩城さんは三十一年間子ども会の世話もしており、夏は水難事故がないようにと町内のため池を巡視し、冬は歩道橋が凍っていないか毎朝点検して子どもたちに声をかけています。

「事故と服装、非行と服装は深い関係にあり、一度注意した生徒が、きちんとしてくれると、苦勞も報われる。」と岩城さん。

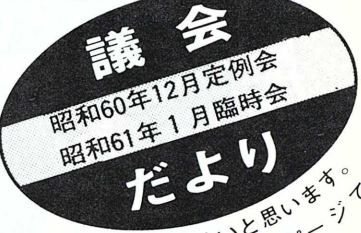
このような岩城さんに対して、昨年の暮れ、赤池派出所に「毎日前に立ってください。」と一紙の包みが匿名で届けられました。

「子どもたちのためにいつもありがとうございます。」の手紙とタイツが入っていたそうです。「うれしくて涙がでた。自分のためでもあり体の許すかきり立ち続けたい。」と話していました。

一般会計

8、385万円を追加補正

ニュータウン 汚水処理場の 工事請負契約など



わかりにくいと思います。でも、読んでほしいページです。

昭和六十年第九回十二月定例町議会は、十二月十三日から二十六日まで十四日間の会期で行われました。今回は、一般会計補正予算など五件の議案が審議され、いずれも執行部提出の原案どおり可決されました。そのほか社会福祉対策についての一般質問や四件の請願と一件の陳情などが審議されました。また、一月十四日に臨時町議会が開催され、二件の議案が可決されました。概要は次のとおりです。
△ なお、次回の定例会議は、昭和六十一年度の各会計の当初予算などが提出され、三月に行われます。
△ 日程や傍聴ご希望の方は、役場議会事務局にお問い合わせください。

補正予算

昭和六十年赤池町一般会計補正予算(一)までの予算総額四十三億五千二百四十三万六千円に、今回、歳入歳出それぞれ八千三百八十五万六千円が追加補正され、総額四十四億三千六百二十九万二千円になりました。
歳入の主なものには町債の五千五百五十万円。歳出では、高尾児童遊園、大浦団地集会所などの建設費や昭和五十七年度に建設した総合住宅団地(赤池)汚水処理場の今年度支払分の工事費四千四百万円などです。
そのほか、社会福祉協議会や福祉会に対する運営助成金などを計上しています。

赤池町固定資産評価審査委員会委員の選任について

委員の選任について、香月昌憲委員が任期満了になったため、同氏が再任されました。

田川市・赤池町天郷青年の家組合議会の議員の互選について

末義信議員の死去により、辰巳昇議員が互選されました。

第二赤池ニュータウン汚水処理施設設置工事の工事請負契約の締結について

赤池ニュータウンの造成拡張と隣接の民間の宅地開発に伴い、現在の汚水処理場では、将来その処理能力を越えるため、今回、新しく汚水処理場を設置するものです。

赤池町消防委員会委員の選任について

赤池町消防委員会委員の選任について、武末義信議員の死去により、新しく小松利道議員が選任されました。

赤池町青年グループ「蒼い会」(田中浩一会長、三十七人)主催のクリスマス会が十二月二十一日、町民会館で開かれました。

「蒼い会」は昭和五十九年七月に結成。独自の青年活動や町主催の各種行事への協力など、若いエネルギーで地域活動に取り組んでいます。

赤池町内の青年グループ「蒼い会」(田中浩一会長、三十七人)主催のクリスマス会が十二月二十一日、町民会館で開かれました。

「蒼い会」は昭和五十九年七月に結成。独自の青年活動や町主催の各種行事への協力など、若いエネルギーで地域活動に取り組んでいます。

子どもたちと楽しいひとときを過ごす「蒼い会」がクリスマスパーティーを開催

赤池町内の青年グループ「蒼い会」(田中浩一会長、三十七人)主催のクリスマス会が十二月二十一日、町民会館で開かれました。

「蒼い会」は昭和五十九年七月に結成。独自の青年活動や町主催の各種行事への協力など、若いエネルギーで地域活動に取り組んでいます。

12支所子ども会がもちつき大会

十二月二十二日、赤池十二支所子ども会(井上孝生会長、三十人)の子どもたちと父兄が、小雨の降る寒中、旧赤池保育所でもちつき大会をしました。

午前中は廃品回収に回り、午後から二つのうすで二斗のもちをつきました。小さな腕で力いっぱいきねを振り上げ、丸め、でき上がったものは雑煮やぜんざいにして食べ、楽しい一日を過ごしました。



小さな手で力いっぱいつきました

老人ホーム天郷荘

花枇杷に送られ迎えられ入居福智の雪の山道真向いに逃げ腰で物ぞう猫に又も雪風邪看るナースも姉さま女房とか情厚く「無情の夢」を歌いぞめお雑煮は鶏鮓味噌の順なりき有り難や七草粥の底に餅

柿原 香草

三月二十一日から五月十一日まで、大分県中津市で福沢諭吉生誕百五十年を記念して「86豊のくにテクノピア」大博覧会が開催されます。

INS館、エネルギー館などの先端技術と一村一品館など伝統物をミックスした二十のパビリオン構成。一月十七日、PRのため「ミステクノピア」の中畑美鈴さんが来町。助役に協力を依頼しました。

中津大博覧会に来てください

ミス、テクノピアが来町

三月二十一日から五月十一日まで、大分県中津市で福沢諭吉生誕百五十年を記念して「86豊のくにテクノピア」大博覧会が開催されます。

INS館、エネルギー館などの先端技術と一村一品館など伝統物をミックスした二十のパビリオン構成。一月十七日、PRのため「ミステクノピア」の中畑美鈴さんが来町。助役に協力を依頼しました。



助役室を訪れたミステクノピアの中畑美鈴さん

事件・事故 見たら聞いたら110番!!

- 事件・事故を見たら聞いたらすばやく110番しましょう。
●急がない相談や問い合わせは、近くの警察署や派出所の電話を利用しましょう。
●110番は事件・事故をすばやく通報するための専用電話です。
●急がない用事で110番しますと、急ぐ人の用件が間に合わなくなります。

110番は落ちついて順序よく

- 何があったか……どろぼう、けんか、交通事故など
○いつ……今、5分位前など
○どこで……〇〇町〇丁目〇番〇号
〇〇スーパー前など
○犯人は……犯人の人数・人相・服装・特徴
逃走方向・車のナンバー・色
○どうなっているか……けが人がいるか、車で立ち去ったなど
○あなたは……110番した方の住所、氏名、電話番号

通報が早ければ早いほどパトカーの現場到着が早くなり、その場で犯人を検挙したり、寸刻をあらそう被害者の救護もできます。

その他の専用電話

- ▷警察への要望・意見は……092-622-0703(広聴ダイヤル)
▷覚せい剤の相談は……092-641-4444(ホワイトテレホン)
▷困りごとの相談は……092-641-7200(警察相談)
▷サラ金の相談は……092-622-0705(サラ金相談)
▷運転免許の更新手続きは……0948-82-3131(筑豊試験場テレホン)
▷道路交通情報の問い合わせは……092-651-1331(福岡)
093-582-1331(北九州)
▷交通事故の相談は……092-622-0403(福岡県交通対策課)
▷子どもの事で悩んでいる方や
悩みや不満を持つヤングの方は
0948-28-7867(飯塚)
0947-44-0579(田川)
09492-4-7867(直方)